

薬事協会報

2023.1 No.248



公益社団法人 東京薬事協会



2010年4月より公益社団法人東京薬事協会 公益社団法人東京生薬協会 北部緑地株式会社
3団体で運営している 東京都薬用植物園内の草屋舎。

謹んで新春の お慶びを申し上げます

公益社団法人東京薬事協会

会長 中島 孝



あけましておめでとうございます。

いまだにコロナ・ウイルスは変異を続けまだまだ終息が見えませんが、このような経済環境の中で、各社ならびに業界の発展にそれぞれご尽力なさっていることと思います。

2023年の干支は「癸卯（みずのと・う）」であります。干支のうさぎは子供さんでも知っていますが癸の意味は何でしょうか。

これは雨や露、霧など、静かで温かい大地を潤す恵みの水を表しているそうです。十干（じっかん）の最後にあたる癸は、生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態を意味しているそうです。干支の卯は穏やかなうさぎの様子から安全・温和のイメージがあり、うさぎのように跳ね上がるという意味があるそうです。卯年は何かを開始するには縁起が良く、希望があふれ、景気回復、好転する良い年になると言われています。

さて2023年は果たしてどんな年になりますでしょうか。

「癸」と「卯」の組み合わせによりこれまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍の年になることを期待したいと思います。

100年前の関東大震災で学んだ教訓を生かしながら、また歴史的円高といわれた1ドル＝75円時代を記憶に残しながら、変化を恐れず、新しい日々を、そして新しい年を大切に生きていきたいと思っています。

当協会の事業は常設委員会の活動を根幹に、理事会の議決に基づき各事業が執行されています。現会員は医療用医薬品・一般用医薬品・生薬・試薬・製薬原料・化学工業薬品・加工食品原材料・医療機器等の製造、卸売販売及び輸入販売のほか各分野の業務受託業など、幅広く業態・業種・規模を超えた企業で構成されています。また、本町医薬品市場の歴史とその史料の収集、保存がなされているのも当協会の特色であり、中央区民文化財40点(登録第83号)を所蔵しております。

また、当協会は平成24年4月に公益社団法人として認定移行し、業種・業態・規模を超えた会員で構成される特性を生かしてまいります。昨年は多くのイベントが中止となりましたが、本年は薬学生を対象にした奨学金給付制度、健康寿命を延ばし介護が必要な人を減らす公開健康講座の開催、薬事知識の普及啓発のイベント、薬事講習会の開催、リーフレット・小冊子の配布等の公益事業を実施してまいります。

今後も地域社会における薬事知識の普及啓発及び薬事関係者に対する情報提供等を通じて都民の健康増進に寄与する事業を行って参ります。何卒、当協会への更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

(日本理化学薬品株式会社 名誉会長)

新年のご挨拶

東京都福祉保健局健康安全部長

藤井 麻里子



新年明けましておめでとうございます。

東京薬事協会の皆様には、日ごろから東京都の福祉保健医療行政に多大なる御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、東京都薬用植物園の運営に関し格別の御尽力を頂き、重ねてお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が発生してから、まもなく3年となります。この間、感染拡大防止の徹底と社会経済活動の推進を両立させるため、都では、保健・医療提供体制の強化を図ってまいりました。今冬の感染拡大に向けた対策として、都民の皆様には、「攻め」となる速やかなワクチン接種、「守り」となる換気等の基本的な感染防止対策、「備え」として抗原検査キットや解熱鎮痛薬等の備蓄の実施をお願いしています。これらの取組を着実に進めるためには、良質な医薬品の供給を担う皆様方との連携が欠かせない状況となっております。引き続き御協力の程、よろしくお願いいたします。

団塊の世代が75歳を迎える2025年まであと2年となり、超高齢化社会が目前に迫っています。高齢者が、住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援を一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築を推進することが求められています。中でも、在宅医療の提供や、一人一人が自らの健康管理を行うセルフケアは重要であり、地域社会における皆様方の活動が大きな支えとなります。引き続き、都民の健康の確保・疾病予防の一翼を担っていただくことを期待しております。

都民の保健医療の水準の向上を進めていくには、行政の取組だけではなく、日頃から都民の医療と健康を支える大きな力となっている皆様方との連携が重要です。今後とも、さらなるお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年が、貴協会の皆様方にとって健やかで明るく、飛躍の年となりますようお祈り申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

令和5年東京薬事協会 新年賀詞交換会

令和5年1月5日（木）3年ぶりとなりましたが、歴代会長の写真を飾った会場で、ご来賓、会員合わせて80名以上の皆さまにご参加をいただき、飲食を伴わない新年賀詞交歓会を開催いたしました。藤川副会長の司会進行で中島会長の挨拶に続いて中央区長 山本泰人様、東京都福祉保健局 食品医薬品安全担当部長 中村重信様、警視庁中央警察署 坂井明德様、引き続きまして、日本製薬団体 連合会 理事長宮島俊彦様、公益社団法人 日本薬剤師会長 山本信夫様からご祝辞をいただきました。



また、日頃より東京薬事協会及び地域社会のためにご指導・ご支援いただいております東京都健康安全研究センター広域監視部長 野口かおる様、東京消防署堀留出張所長 向江勝巳様、日本橋本町三丁目西町会町会長 岩井正雄様、日本橋本町二丁目自治会長 小西茂之様、日本橋本町四丁目東町会町会長 小林丈夫様、日本橋本町四丁目西町会町会長 海老原裕様をご紹介させていただきました。飲食を伴わない賀詞交換会でしたが、最後は金原副会長の三本締めにてお開きとなり、業界で最初の賀詞交歓会を滞りなく開催することができました。

本年もよろしくお願い申し上げます。



会場の様子

中央区長 山本 泰人様のご祝辞

皆さま明けましておめでとうございます。中央区長の山本泰人です。確か3年前にお招きをいただき挨拶をさせていただいたことを記憶しております。

新型コロナですが、現在第8波ですが、一番きつかったのはワクチンが来なかった一昨年のオリンピック、パラリンピックのころです。どうして国産のワクチンが無いのか 輸入品も数が限られている状態で23区のみなさんは待ち望んでいる状態はいまだに忘れることができません。徳川家薬が江戸に入り区割りしたのはこの日本橋本町が最初と聞いております。



中でも武田薬品工業さん、第一三共さん、中外薬品さん、アステラスさんと薬業を進めていただいておりますが、私も心を新たに医療体制について考えていきたいと思っておりますし、新しい創薬をこの中央区からどんどん出していだきたいと思えます。くすりの街としてこれからも発展すること、そして今年が良い年になることを心より祈願してご挨拶に代えさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

東京都福祉保険局 食品医薬品安全担当部長 中村重信様のご祝辞

皆さま新年あけましておめでとうございます。東京都福祉保健局食品医薬品安全担当の中村でございます。東京薬事協会の皆さまには日頃より、都薬事行政に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

新型コロナも3年になります。都民の皆さまにも感染防止としてワクチン接種もお願いしています。団塊の世代が75歳になる2025年まであと2年となり超高齢者が目前に迫っております。

2040年には都民の約3割が65歳以上の高齢者となり、介護・医療サービスの大幅な需要増大が見込まれ、良質な医薬品の情報は非常に重要です。

本協会に置かれましては東京都薬用植物園の運営にもご協力いただき薬事講習会および薬学部の学生に対する奨学金の給付そして小池知事も出席しているよく知って正しく使おう OTC 医薬品普及啓発イベントなど都民のセルフメディケーションの啓発など積極的に活動していただきありがとうございます。今年も都民の健康医療水準の向上を目指した継続した活動をお願いしたいと思います。今後も更なるお力添えをお願いいたしたくよろしくお願いいたします。結びに東京薬事協会の益々のご発展と皆さまのご健勝を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。本日はおめでとうございます。



警視庁 中央警察署 署長 坂井明徳様のご祝辞

皆さま新年明けましておめでとうございます。

一昨日は箱根駅伝が行われ無事ランナーの皆さまが日本橋を渡り大手町に向かっておりましたが、大きな事故もなく大変良かったと思っております。

平素は警察業務にご理解、ご協力ありがとうございます。今年も中央警察署では安心・安全な街づくりを目指して署員一丸となってがんばってまいりますので、ご協力よろしく願いいたします。

本日参加されています皆さまのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年の挨拶に代えさせていただきます。本日はおめでとうございます。



日本製薬団体連合会 理事長 宮島俊彦様のご祝辞

先ほど中島会長から癸卯（みずのと・う）で飛躍の年になりますようにお話を頂きましたが、薬業会はご存じの通りここ数年薬価の抜本改革ということでしたが、医療用が 10 兆円 OTC が 1 兆円薬価改正についてもやや潮目が変わってきたのかなと感じています。新薬についてはアメリカやヨーロッパで承認されても導入されていない薬もあり、政治家の方も気が付き始めたと思います。日本の創薬の回復も第一だと思います。日本のジェネリックについては不祥事がありましたのでここは襟を正さないといけないと思います。

医薬品の制度についても今年は大きく変わる年になると思います。今年が良い年になることを心より祈願してご挨拶に代えさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。



皆さま新年おめでとうございます。

昨年の末の薬価改定は残念な結果でしたが、不採算の薬価についての対応についても新しい体制ができたと考えております。皆さまとともに働いて自分たちの役割をしっかりと果たしたいと思います。ウサギのように見事に跳ねることができますように、東京薬事協会の益々の発展と皆さまのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年の挨拶に代えさせていただきます。本日はおめでとうございます。



令和5年 東京薬業四団体 新年賀詞交換会

東京薬業四団体（公益社団法人東京薬事協会、公益社団法人東京医薬品工業協会、一般社団法人東京医薬品卸業協会、東京都家庭薬工業協同組合）主催の新年賀詞交歓会が令和5年1月6日（金）12時よりザ・プリンスパークタワー東京「コンベンションホール」にご来賓、受賞者の方々を含め飲食を伴わない形で多くの方々を迎えて開催されました。

最初に主催四団体を代表して東京医薬品工業協会 宮本昌志会長の新年ご挨拶に続き、加藤勝信厚生労働大臣、東京都福祉保健局 食品医薬品安全担当部長中村重信様、厚生労働大臣政務官の本田顕子様からご挨拶を頂戴いたしました。

その後、令和4年度薬事功労受賞者祝賀行事では受賞者が紹介され、祝品の贈呈ののち、受賞者を代表して第一三共株式会社 常勤顧問 中山譲二様が謝辞を述べられました。

受賞者の皆様

旭日重光章	第一三共株式会社	常勤顧問	中山 譲二様
旭日中綬章	キッセイ薬品工業株式会社	代表取締役会長	神澤 陸雄様



東京医薬品工業協会 宮本会長



司会の東京医薬品工業協会 清水常務理事



厚生労働大臣 加藤勝信様



東京都福祉保険局食品医薬品安全担当部長 中村様



厚生労働大臣政務官 本田顕子様



小池都知事のビデオメッセージ



中山様の受賞者謝辞



受付の様子



会場の様子



会場の様子

令和4年度草収穫感謝の会」「公開健康講座」

令和4年11月5日（土）「薬草収穫感謝の会」と「公開健康講座」が東京都薬用植物園で開催されました。本イベントは、主催：（公社）東京薬事協会・（公社）東京生薬協会・本町生薬会・（公社）東京都薬剤師会、共催：東京都により開催されたものです。

① 感謝祭行事

② 公開健康講座

テーマ 「においはくすりになりますか」

時間 10:40～11:40

講師 伊藤美千穂先生 国立医薬品食品衛生研究所 生薬部部长

③ 薬草園見学

当日は共催である東京都から東京都健康安全研究センター所長の吉村和久所長よりご挨拶をいただきました。その後主催者四団体を代表して東京生薬協会金原徳典最高顧問からの挨拶、そして伊藤美千穂先生よりテーマ「においはくすりになりますか」の講座が開催されました。

当日は11月にしては暖かく多くの方が来園され、花の苗などを進呈いたしました。

公開健康講座(厚生講演会)のお知らせ

1. 日 時 : 令和 5 年 3 月 3 日 (金) 13:00~15:00 予定
2. 場 所 : 東京都薬用植物園研修室 (西武拝島線東大和市駅下車 2 分)
東京都小平市中島町 21 番 1 号 TEL 042-341-0344
3. 講演
講演 1・2 未定
4. 会 費 : 無 料
5. 申込み方法 : FAX またはホームページからお申込みください。
6. 申込み先 : 東京薬事協会事務局 電話 03-3279-1300 FAX 03-3242-1994

令和 4 年度 第 168 回薬事講習会のお知らせ

令和 4 年度下期 第 168 回薬事講習会を下記の要領で開催いたします。会員会社ならびに関係者からの多数のご参加をお待ちしております。

演題 1: 東京都における医薬品の監視指導等について

演題 2: 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の認定状況について

演題 3: 衛生害虫について

この薬事講習会は当協会の公益事業の一環として開催しているもので、非会員の方々にも広く参加を呼びかけております。100 名の定員になり次第締め切らせていただきますので、会員の方々は早めにお申し込みください。

参加のお申込は東京薬事協会ホームページの「各種申込」から可能です。

開催日時 令和 5 年 2 月 17 日 (金) 14:00~16:30 予定

場 所 薬業健保会館 6 階講堂 (千代田区永田町 2-17-2 TEL03-3581-1231)

・東京メトロ 銀座線・丸ノ内線「赤坂見附駅」

・東京メトロ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」

【東京薬業企業年金基金のお知らせ】

東京薬業企業年金基金は、医薬品関連企業等約 650 社が加入する総合型の基金です。福利厚生の実施のため、是非ともご加入をご検討されてはいかがでしょうか。



薬事協会報

発行 公益社団法人 東京薬事協会

〒103-0023 東京中央区日本橋本町 3-4-18 昭和薬貿ビル

電話 03-3279-1300 FAX03-3242-1994

URL : <http://www.yakujikyo.or.jp>

E-mail: kusuri@yakujikyo.or.jp